

法研論集第149号寄稿原稿一覧

氏 名	学 年	論 文 題 目
石川 真衣	博士後期課程 1 年	フランスにおける株式会社の成立と展開 (1) —会社本質論への手がかりとして—
梶谷 康久 (優先掲載希望者)	博士後期課程 1 年	ドイツにおける使用貸借の発展 (1) —物権債権峻別論の検討のために—
棚橋 洋平	博士後期課程 1 年	再建型倒産処理手続におけるスポンサー保護条項の処遇 (1) —アメリカにおけるストーキング・ホース保護条項からの示唆—
中山 代志子	博士後期課程 1 年	行政調査における令状主義の適用範囲 (2・完) —刑事法および米国憲法修正 4 条からみた行政手続に関する一考察—
根岸 陽太 (優先掲載希望者)	博士後期課程 1 年	米州人権条約の実施における賠償義務の機能 (2・完)
林 健太郎 (優先掲載希望者)	博士後期課程 1 年	イギリス失業保険制度史から見る“労働と社会保障の関係性” (3) —救貧法からベヴァリッジ報告までの考察を通して—
安嶋 建	博士後期課程 2 年	明確性の原則の再定義—経済刑法の領域を中心として—
今井 康介	博士後期課程 2 年	過失犯における単独正犯と共同正犯 (1)
永井 紹裕	博士後期課程 2 年	緊急避難の制約根拠について (1)
毛 乃純	博士後期課程 2 年	客観的処罰条件に関する中国の司法実務についての—考察
楊 官鵬 (優先掲載希望者)	博士後期課程 2 年	中国の土地収用制度における公共利益 (1) —公益認定の制度と学説に関する比較法的考察—
鈴木 尊明	博士後期課程 3 年	複数当事者への債権債務帰属関係の基本構造 —民法（債権関係）改正作業の問題視角とその評価のための準備作業—
塚原 義央 (優先掲載希望者)	博士後期課程 3 年	「法律を知るとはその文言を把握することではなくて、その力を把握することであるScire leges non hoc est verba earum tenere, sed vim ac potestatem」 (1) - 古典期法学者・ケルススの法解釈 -
李 慧敏	博士後期課程 3 年	電力産業における政府規則に関する理論の発展についての考察
小島 恵	博士後期課程 6 年	欧州における科学物質にかかる予防的法制の最新動向 —予防原則と代替原則の観点からの検討
大久保 優也 (優先掲載希望者)	博士後期課程 研究指導終了	草創期合衆国憲法における「憲法秩序」の構想 (4・完) —ケント、ストーリーと初期合衆国憲法の政治経済思想的基礎